

サロン日吉

平成27年9月吉日

「なかよし」

当番町会 日吉台町内会

「なかよし」も、4年目を迎える事が出来ました。この度は、東横沿線を語る会の岩田忠利様を講師にお迎えし“**とうよこエリアの今昔**”を、スライドを通してお話しいたします。明治・大正・昭和に撮影された貴重な写真と、最近の写真との対比を是非ご覧ください。

講 師 岩田忠利 様

(東横沿線を語る会)

日 時 9月25日 (金)

13:00～15:00

場 所 日吉町自治会館

参加費 無料

代官山

とうよこエリアの今昔 CDに

00年休刊 地域情報誌の発行人作製

アート

1980年に創刊し、東急東横線の沿線地域を中心に身近な情報を発信し続けた地域情報誌「とうよこ沿線」(現在は休刊)の編集発行人、岩田忠利さん(76)は横浜市港北区日吉IIが、集大成のCD「写真が語る沿線」を完成させた。駅頭の風景や生活の様子を写した昔と今の写真の対比で、沿線の歴史をたどる貴重な資料になっている。

CDは全10巻。横浜市内は港北区編、神奈川区編&横浜・関内編、青葉区編、緑区編、都筑区編、鶴見区編、川崎市内は川崎中部編、東京都内では渋谷、目黒、大田、世田谷区などの写真がある。

東横線を中心に田園都市線や市営地下鉄線、京急線、JR線などの沿



武蔵小杉

駅前ロータリーに車は見あたらない。のどかな時代のJR武蔵小杉駅周辺=1960年2月、山田勇さん撮影



JR武蔵小杉駅前の最近の様子=2013年3月



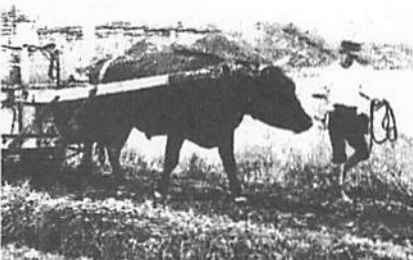
岩田忠利さん

線地域で、明治、大正、昭和期に撮影された貴重な写真を収録。その一部は最近の写真と対比することで変遷ぶりが分かり、撮影時の様子の説明も付いている。

地域情報誌がまだ定着していなかった時代、「とうよこ沿線」は地域の情報を行政区分を越えて発信しようと、住民ら19人が集まって80年7月に創刊した。生活情報や歴史・文化などを紹介する内容が評判を呼び、90年には「サントリー地域文化賞」を受賞。スタッフの高齢化などから2000年7月に第74号で「休刊」するまで、年4回のペースで発行された。

CDに収められた昔の写真は、創刊当初からの人気コーナー「アルバム拝借」に掲載するために、岩田さんやスタッフが関係者宅を一軒一軒

新横浜



新横浜駅の基礎工事が進行中をおけを積んだ牛車を通る。7月、本田芳治さん撮影

明治～現代「集大成」の全10巻

「訪ねた先で断られたことも、たびたびあった。信頼されない、なかなか貸してもらえない。でも、趣旨を理解して協力してくれる人は多かった」と岩田さんは懐かしそうに振り返る。

創刊20年を迎えた00年からは、岩田さんが撮影した直近の風景も併せて掲載した写真集8冊を出版。さらに今回のCD作製にあたり、昨春まで1年かけて現在の風景を撮り直した。「CDは私の体力、知力、時間の大半を費やした集大成です」と言う。

CDは横浜や川崎の小学校で、地域の歴史を学ぶ教材としても使われている。一部は横浜中央、港北、青葉、緑、都筑、鶴見の各図書館で閲覧できるが、希望者には1枚4千円(別に送料150円)で販売する。

問い合わせは、「とうよこ沿線」編集室(045・561・1000)へ。(日高敏景)

写真は「いずれも」とうよこ沿線編集室提供



周辺の最近の様子=2013年2月